

人、社会からゆるぎない 信頼を得るために

横浜ゴムグループは、人と社会からゆるぎない信頼を得たいと考えています。しかし信頼は双方向の関係で生まれるものであり、私たちだけで築き上げられるものではありません。そのためステークホルダーの皆さまに、私たちの事業活動をできるだけ具体的に知っていただき、ご意見を真摯に受け止め自らを変革し続けていきたいと考えています。この特集では、企業理念に掲げた「人を大切にし、人を磨き、人が活躍する場をつくる」、「社会に対する公正さと、環境との調和を大切にする」の方針が、実際にどう具体化されているか、従業員への取り組み、地域社会との交流活動を通じてご紹介します。

モノづくりの根幹を支える技能マイスター

タイヤ、MB工場で35名が活躍中

技能マイスター制度は2004年10月にスタートしました。設備に関する専門スキルを持つ人材の減少、高齢化、定年退職による高技能の喪失、海外工場立ち上げ指導員の不足などの問題を解消するため、高技能保持者を技能マイスターに認定し、後継者育成指導、他工場への技能移転を行ってもらう制度です。現在、現職、定年退職者合わせて35名(2009年3月末)の技能マイスターが、タイヤ、MB工場で活躍しています。

熟練高技能者のモチベーションを向上

技能マイスター制度は3段階に分かれており、それぞれ求められる技能や業務内容が異なります。従来は「工程第一人者」と呼ばれ、衆目が認める高技能保持者であっても、それを認定する特別な制度がありませんでした。しかし技能マイスター制度制定後は、名誉、処遇両面で明確に評価されるようになり、作業者に

とって熟練高技能者を目指すことが大きなモチベーションになっています。技能マイスターの認定は、部門による推薦を受け、役員がメンバーに加わった評価委員会で審査を行い承認しています。なお技能マイスターとは別に「名匠」も認定・評価しています。

技能マイスター制度の概要

技能マイスターの定義		
伝承すべき高技能を保有する者で、後継者育成指導および他工場(海外含む)への技能移転を行う専門職		
ランク	基準年限	求められる技能
A級	25年	全生産工程の理解と複数工程にまたがる範囲で高い技能レベルにあり、指導・改善ができる
B級	15年	複数工程の理解と担当工程全般で高いレベルにあり、担当工程での指導・改善ができる
C級	8年	担当工程の理解と高い技能を有し、当該工程での指導・改善ができる

名匠の定義

衆目が一致する傑出した匠の技を持つ高技能者

匠の技を伝承する技能マイスター制度

先輩たちから学んだことを若い世代に伝えていきたい

「ゴムは生き物なので、その日の温度や湿度によって微妙に硬い、軟らかいという違いがあり、季節や時間に応じ機械を調整しなければなりません。またスチールコードや繊維の種類も多種多様で、ゴムと素材の相性にも目配りしなければなりません。

難しい作業のようですが、入社して1年も経てば、ゴムシートが作れるようになり、2年も経てば一人前の圧延マンになります。ただそこから先が難しい。2年、3年はあっという間に過ぎてしまいます。だから私はいつも若手に何か目標を持って日頃から指導しています。次のステップを目指さないと現状維持さえ難しく、成長などとてもおぼつきません。

私の流儀として、人にモノを教える時は、作業長など職場リーダーを中心にアドバイスします。職制を越えて若手を直接指導すると作業長が育たない。作業長は機械操作のノウハウに通じさえすれば良いというものではありません。安全、品質、コスト、部下の育成など、リーダーとしてすべてに気を配る必要があります。自分で考え、皆を引っ張っていけるリーダーを育てることも、技能マイスターの重要な役目だと思っています。

私はマザーマシン(母なる機械)という言葉が好きです。若い頃、機械から色々学び、自分が指導できる立場になったら、今度は自分を育ててくれた機械を大きく育てる。そうした恩返し気持ちが大切だと思います。今後、後輩たちは、私たち以上に海外で活躍する機会が増えます。そうした若い人たちに、私の技術や先輩たちから受け継いだ知識や経験を伝えたいと思います。それが『技術の横浜ゴム』のモノづくりを次世代に繋げ、世界ナンバーワンを目指す道だと信じています」。



1995年、米国のヨコハマタイヤコーポレーションにて(左端)



新城工場 製造1課 技能マイスター
天野泰作

1949年1月生れの60歳。1968年、横浜ゴム入社。新城工場圧延工程に配属され、以来、作業長、技士、職長として40年以上に渡り圧延に携わる。圧延は巨大なロールを使ってスチールコードや繊維などの補強材にゴムを圧着させ、タイヤ部材となるゴムシートを製造する工程。またシートにはわずかな厚さの誤差も許されない高い品質が求められる。1990年代半ばから米国、フィリピン、中国、タイの海外工場の支援を行う。2006年4月、技能マイスターに認定され、今年1月の定年退職後も再雇用で活躍中。



新城工場圧延工程で後輩の作業長を指導する天野泰作(右)